

小さな声を、聴く力。公明党

春日部市議会議員くりばら信司



くりばら通信



予算要望書を提出しました

重点要望16項目・その他大項目15・小項目85



新本庁舎、竣工しました

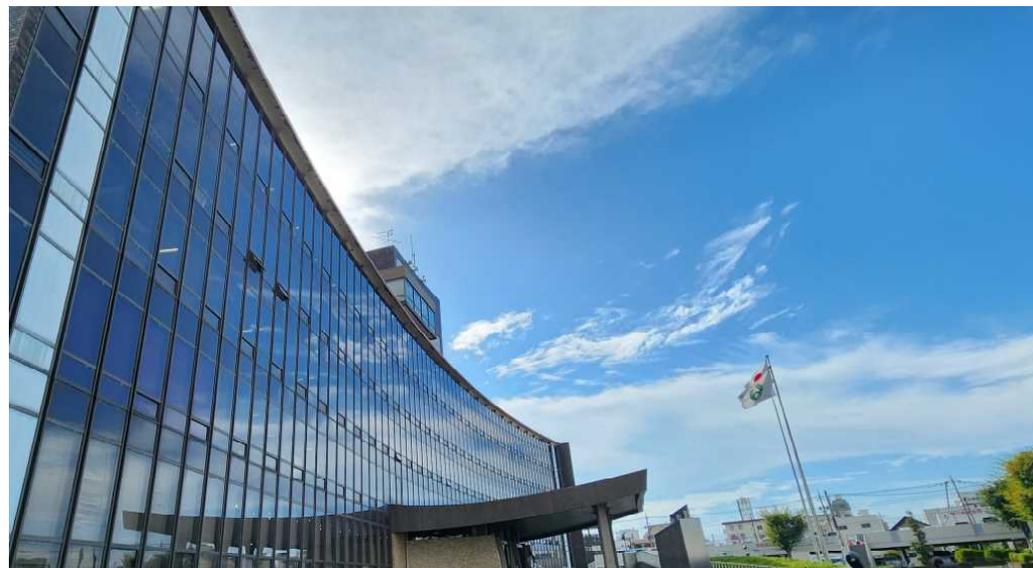
明年1月4日より開庁となります。

公明党では無料の法律相談を行っております。
お申し込み、その他ご相談・ご要望は

くりばら

まで

電話は 090-3476-6526



新型コロナウイルス感染症は5類に移行したもののまだまだ先が見えません。例年になくインフルエンザも猛威を奮っています。皆さま、体調管理には気をつけて下さい。

さて、春日部駅付近連続立体化高架事業は順調に工事が進んでおります。市役所本庁舎も無事に竣工し、明年の開庁を待つばかりとなって参りました。

公明党市議団としてはアフターコロナを見据えつつ、これからも市民の命と暮らしをお守りするために全力で取り組んで参ります。公明党への変わらぬご支援を宜しくお願い致します。

令和5年9月議会における一般質問より

①：デジタル地域通貨について

問 地域通貨に関しては平成16年にも取り上げ、関連した事業として介護予防に特化したボランティアポイント制度として動き出したところですが、本来要望する形として、地域通貨事業の導入を求めて予算要望を継続しているところです。

その後、新型コロナの影響で市内経済はもとより、国内的に景気が厳しくなったことを受け、国として支援策を打ち出し、春日部市としてもこれを財源としてプレミアム付き電子食事券の発行などに取り組んだところです。本来、求めて来た形に一步近づいたところです。

また、大手企業がキャッシュレス決済などを強力に進めたことや、国がマイナンバーカードの普及促進を図ったこともあり、キャッシュレス決済という仕組みや、デジタル地域通貨的な背景、基盤が整ってきましたこともあり、デジタル地域通貨の早期導入を求め、市の考えを伺いました。

答 デジタル地域通貨を導入している、いずれの事例も地域内の経済活性化を目的として取り組まれており、効果的な施策の一つとして認識しています。今後、関係する皆さまからもご意見を頂きながら本市における持続可能なデジタル地域通貨について導入が可能か検討していきます。



②：冠水時の市道の安全対策について

問 本年6月の大雨では、道路冠水が38箇所、また、その影響を受け、市道28箇所が通行止めとなりました。しかし、通行止めになる直前に冠水した市道を走っていた車が縁石に乗り上げてしまい、他の車の通行の妨げになってしまったことから、縁石に浸水センサーやラバーポールなどを設置するべきと提案方々、その対策を求めました。

答 市としてはセンサーの設置やラバーポールの設置など、冠水時の効果的な安全対策について、他市事例などを調査研究します。



③：ユニバーサルシートの設置について

問 ユニバーサルシートは大人用介助ベッドとか多目的シートなどと呼ばれるものです。春日部市内でも多目的トイレの設置は徐々に設置されてきているところですが、ユニバーサルシートの設置は市内にはほぼされていません。そこで市内全ての公共施設への設置を求め市の見解を尋ねました。

答 市としては今後、建物を新築する際には設置していくと共に、既存のトイレについてもユニバーサルシートの設置を検討していきます。

